

もし、学校や職場にいる時、大地震が起きたら、 あなたはどうしますか？

「巨大災害時を想定した“食のそなえ”と コミュニティづくり」

9月1日は防災の日。本年は4月に九州で大きな地震があり、まさかの事態を意識せざるを得ない日々が続いています。

災害時には、一人ひとり自律的な行動ができることが重要ですが、地域や組織での協力体制（コミュニティ）があることがとても大切です。今回は「食のそなえ」をキーワードに、いざという時の「共助」について皆さんで考えてみたいと思います。

第一部 講演



本気で取り組む災害食 ～地域ぐるみで共助のすすめ～

奥田 和子 甲南女子大学名誉教授、日本災害食学会顧問、
(特)日本災害救援ボランティアネットワーク理事

専門は災害・危機管理と食、食の哲学・食育など。福岡県生まれ。広島大学教育学部卒業。大阪市立大学学術博士取得。米国カリフォルニア大学バークレー校栄養学科客員研究員、英国ジョンモアーズ大学食物栄養学科客員研究員。甲南女子大学人間科学部人間環境学科教授を経て、現職に至る。

第二部 参加型議論

巨大地震が起きた時、地域でできることは何か？ 個人と組織はどう動けばよいか？

〔ファシリテーション協力：地域経営まちづくり塾、OPU for 3.11 ネットワーク〕

日時 : 8月22日(月) 13:00 ~ 17:00
場所 : i-siteなんば2階C2+C3 (大阪市浪速区敷津東2丁目1-41)
対象 : どなたでも参加できます。
下記お申し込みください。(定員80名)



(入力情報は本セミナーの連絡が必要な時にのみ使用します。)

← <http://kokucheese.com/event/index/413048/> (こくちーず)

問合わせ : 大阪府立大学学生課 キャリアサポート室 (A3棟2階)
電話 : 072-254-9119

